

## 裁判官出身の最高裁判事 6 名

### 最高裁判所長官 竹崎博允

昭和42年 東京大学法学部卒業

昭和42年 司法修習生

昭和44年 判事補任官

その後、東京地裁、広島地裁、司法研修所、鹿児島地・家裁で勤務

昭和54年 東京地裁判事

昭和56年 司法研修所教官

昭和57年 最高裁総務局第二課長兼第三課長

昭和59年 最高裁総務局第一課長

昭和63年 東京地裁判事

平成2年 東京高裁事務局長

平成6年 東京地裁判事部総括

平成9年 最高裁経理局長

平成14年 最高裁事務次長

平成14年 最高裁事務総長

平成18年 名古屋高裁長官

平成19年 東京高裁長官

### 金築誠志

昭和42年 東京大学法学部卒業

昭和42年 司法修習生

昭和44年 東京地裁判事補

以降、司法研修所、最高裁広報課、札幌地家裁、東京地裁において勤務

昭和54年 最高裁調査官

昭和58年 最高裁人事局任用課長兼調査課長

昭和62年 東京地裁判事

平成 2年 東京地裁判事部総括

平成10年 最高裁人事局長

平成14年 司法研修所長

平成17年 東京地方裁判所長

平成18年 大阪高裁長官

平成21年1月26日 最高裁判事

### 千葉勝美

昭和 45年 東京大学法学部卒業

昭和 45年 司法修習生

昭和 47年 判事補任官

その後、東京地裁、最高裁人事局、京都地裁、東京地裁において勤務

昭和 57年 東京地裁判事

昭和 59年 最高裁行政局第二課長

昭和 61年 最高裁行政局第一課長兼第三課長

平成 7年 最高裁秘書課長兼広報課長

平成 11年 最高裁民事局長兼行政局長

平成 15年 甲府地家裁所長

平成 16年 東京高裁判事部総括

平成 17年 最高裁首席調査官

平成 20年 仙台高裁長官

平成 21年 12月28日 最高裁判事

### 白木勇

昭和 43 年 東京大学法学部卒業  
昭和 43 年 司法修習生  
昭和 45 年 判事補任官  
その後、東京地裁、最高裁刑事局、新潟地家裁、東京地裁において勤務  
昭和 55 年 東京地裁判事  
昭和 56 年 名古屋地裁判事  
昭和 59 年 司法研修所教官  
昭和 61 年 最高裁刑事局第二課長  
昭和 62 年 最高裁刑事局第一課長兼第三課長  
平成元年 東京地裁判事  
平成 3 年 東京地裁判事部総括  
平成 3 年 最高裁秘書課長兼広報課長  
平成 7 年 最高裁上席調査官  
平成 9 年 最高裁刑事局長兼図書館長  
平成 13 年 水戸地裁所長  
平成 14 年 東京高裁判事部総括  
平成 18 年 東京地裁所長  
平成 19 年 広島高裁長官  
平成 20 年 東京高裁長官  
平成 22 年 1 月 15 日 最高裁判事

### 大谷剛彦

昭和 45 年 東京大学法学部卒業  
昭和 45 年 司法修習生  
昭和 47 年 判事補任官  
その後、東京地裁、最高裁総務局、福島地家裁会津若松支部、那覇地家裁において勤務  
昭和 57 年 裁判所書記官研修所教官  
昭和 60 年 東京地裁判事  
昭和 63 年 最高裁経理局課長  
平成 6 年 東京地裁判事 部総括  
平成 9 年 東京高裁事務局長  
平成 14 年 最高裁経理局長  
平成 18 年 最高裁事務次長  
平成 18 年 最高裁事務総長  
平成 21 年 大阪高裁長官  
平成 22 年 6 月 17 日 最高裁判事

## 岡部喜代子

昭和 46 年 慶應義塾大学法学部卒業  
昭和 49 年 慶應義塾大学大学院法学研究科私法学専攻修士課程修了  
昭和 49 年 司法修習生  
昭和 51 年 判事補任官  
その後、名古屋地裁、札幌地家裁、東京地裁において勤務  
昭和 61 年 大分地家裁判事  
平成 元年 東京家裁判事  
平成 5 年 依願退官  
平成 5 年 弁護士名簿登録(東京弁護士会)  
平成 9 年 東洋大学法学部教授  
平成 14 年 中央労働委員会公益委員  
平成 15 年 最高裁判所家庭規則制定諮問委員会委員  
平成 16 年 東洋大学専門職大学院法務研究科教授  
平成 19 年 慶應義塾大学大学院法務研究科教授  
平成 21 年 労働政策審議会労働条件分科会委員  
平成 22 年 4 月 12 日 最高裁判事  
平成 19 年 慶應義塾大学大学院法務研究科教授  
平成 21 年 労働政策審議会労働条件分科会委員  
平成 22 年 4 月 12 日 最高裁判事